

梅部会（薬・薬連携会）について



独立行政法人 国立病院機構
東名古屋病院
NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION
HIGASHI NAGOYA NATIONAL HOSPITAL

東名古屋病院 薬剤部

2019年3月作成

薬・薬連携強化のための取り組み



梅部会（薬・薬連携会）の開催

→ 顔の見える関係づくり、意見・情報交換のための薬・薬連携会として取り組んでいます



薬剤適正使用のための施設間情報連絡書
を活用した情報共有

→ 連絡書を用いた患者情報の共有により、日頃から病院薬剤師と薬局薬剤師の連携強化に取り組んでいます

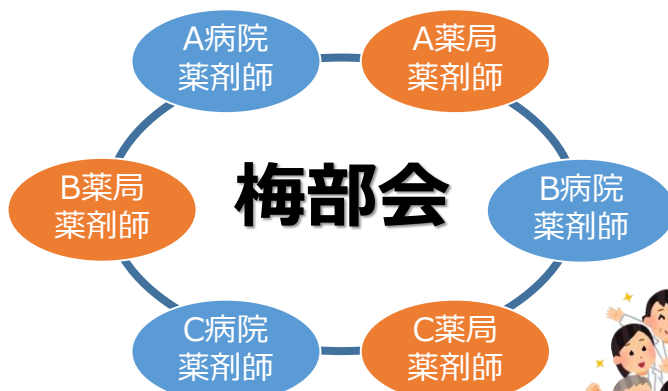
梅部会開催の目的

- 地域の病院薬剤師・薬局薬剤師が連携し、転院や退院後も継続した薬物療法を提供するための意見交換・情報共有をする
- 地域の薬剤師の交流を深め、顔の見える関係を構築する
- 単施設では解決できない問題・課題を、多施設共同で解決する



梅部会の参加について

- 梅部会は地域の複数の病院薬剤師・保険薬局薬剤師が参加しています





梅部会の内容について

日程	内容	参加者
第4回梅部会 (2019年1月)	病院薬剤師の1日の紹介 薬局薬剤師の1日の紹介 グループディスカッション (今後の地域連携を強化するには)	16名 (3病院・5薬局)
第3回梅部会 (2018年7月)	管理栄養士より栄養剤について 保険薬局に関係する診療報酬について	21名 (2病院・4薬局)
第2回梅部会 (2017年12月)	施設間連絡書を用いた薬・薬連携の紹介 疑義照会事前合意プロトコルについて	19名 (2病院・6薬局)
第1回梅部会 (2017年2月)	今後の薬・薬連携にむけて	

論文・講演会・学会発表

○梅部会に参加している病院薬剤師・薬局薬剤師の 地域連携に関する業績

- 多職種協働で実現した退院時薬剤師サマリーの導入について～回復期病院から在宅ケアへの貢献を目指して,2019/2/23,中小病院実践セミナーin NAGOYA, (メイトウホスピタル: 浅井)
- 施設間連絡書を用いた情報共有の取り組みについて,2018/8/2,第3回地域包括ケア時代における薬剤師の役割を考える会, (長良医療センター: 脇田)
- 施設間情報連絡書を用いた情報共有の有用性に関する検討: 日本病院薬剤師会雑誌, 54, 825-833, (2018), (東名古屋病院: 鈴木)
- 高齢者・在宅患者における薬剤管理,2018/2/17,平成29年度第3回愛知県病院薬剤師会HIV部会学術講演会 (弘法薬局: 荒川)
- 「薬剤適正使用のための施設間情報連絡書」を用いた保険薬局に対する情報共有と今後の課題についてのアンケート調査,2017/11/4,第27回日本医療薬学会年会 (東名古屋病院: 垣越)

